

# テラスのカウンター席は林の前の特等席！ 柳生真吾・流こだわりのテラス物語

柵のカウンターは八ヶ岳倶楽部のたからもの——雑木林を眺めながら、ゆったりくつろげます。

## テラスの柵は、林との境界ではなく 林を眺めるカウンター席

八ヶ岳倶楽部に何棟かある建物には、すべて木製のデッキテラスがあり

ます。テラスは現代の縁側という発想からです。自然界には「平ら」がありませんが、人は平らな場所においてこそ、くつろげます。平らなテラス：できればそこに手すりは付けたくない。でもここはお客さまを迎える施設なので付けなければいけない。だったら、林と区切るのではなく、手すりをテーブルにしてしまおう、と考えました。やってみたら大成功！

いる「キシラデコール」。これは、僕の園芸修行時代の師匠が大ファンで、大物から小物まで木部の塗装はすべてキシラデコールを使い絶大な信頼感があるからです。木部への浸透性がよく、しっかりと保護してくれるので安心感が



カラーは僕の大好きなシルバグレイ。洗練されたオシャシな色です。

**20年以上使っている  
キシラデコールで塗装**  
塗料は、木を腐らせたくない、木目も見せたい、耐久性にも優れている」という条件を満たす点で20年以上使って

◀この席はかぶりつき！木の葉っぱに手の届く位置が大人気です。



テラスはカウンター席から埋まっています

あります。今年の冬の大雪と寒さからも木を守ってくれた耐久性がその偉力を証明しています。最近、においの少ない水性塗料も加わったので、ゲーニングの小物や看板等には重宝しますね。メンテナンスが大変なのは？と聞かれることがあります。が、ここのスタッフ達はどんな作業も力仕事も「遊び」やお祭り」に変えてしまいます。広い広いデッキの塗り替えも僕らにとっては楽しいDIYイベントなのです。

水性・屋外木部用・高性能木材保護塗料

水性 **キシラデコール**  
エクステリア



油性・屋外木部用・高性能木材保護塗料

油性 **キシラデコール**



八ヶ岳倶楽部代表  
園芸家  
柳生真吾さん



**J Chem**

日本エンバイロケミカルズ株式会社

〒550-0023  
大阪市西区千代崎三丁目南2番37号  
ドームシティガスビル  
☎0120-124-123  
FAX.06-4393-0054  
<http://www.jechem.co.jp>



# スイセンたちは立派でした!

4,556組から贈られた約20万個のスイセンが東北の地で花開きました!



岩手県陸前高田市 吉田正子さん「花っこ畑」2,000個植え込み。



柳生真吾さんの提唱で3年前の初夏に立ち上がったスイセンプロジェクトが、今年3年目を迎え、一つの区切りの時期となりました。全国から送られたスイセンの球根は3年間で約20万個、4,556組の方々のご参加で、被災地のあちこちを彩り、たくさんの被災者の心をなごませました。ご協力いただいた全国の皆さん、ありがとうございました。3年目のご報告を兼ね、柳生真吾さんからのメッセージをお届けします。

## 贈ってくれたみなさん、ありがとう! 育ててくれた被災地のみなさん、ありがとう!

3年前。3.11の津波が来た1ヵ月後、僕が目にしたのは瓦礫の間に塩水の中で咲いている黄色いスイセンでした。すべてが壊されてしまった津波の跡地に、この黄色い花が何事もなかったように美しく咲いていたのです。寒さや潮風に強く塩水にも強いスイセン! この日が僕のスイセンプロジェクトの始まりでした。その後ほぼ毎月のように被災地に通り、秋にはみなさんから集まった球根を配布したり植えに行ったりしました。3年後の今、株は3倍になり花の数もボリュームも増えて、とても立派に咲いています。車で東北を走っていると、スイセンプロジェクトのスイセン花壇はすぐにわかります。全国から届けられているのでバラバラの品種が混じって咲くのです。



岩手県大槌町「大槌町花と夢いっぱいプロジェクト」1,000個植え込み。



岩手県釜石市 平田仮設住宅 5,000個植え込み。(TV岩手5きげんテレビ「希望の花」にて)

## スイセンは自分の役目を立派に果たしていた!

僕が行くとスイセンを植えて育ててくれた人たちがみんな胸を張ってきれいに咲いたスイセンを自慢します。花が大好きな僕にとって被災地で「花自慢」を聞くのは何よりの喜びでした。みなさんから届いたスイセンは、今いろんな役目を各地で果たしています。仮設住宅の人々をなごませたり、復興工事で砂ぼろぼろの中を走るダンプの運転手さんの目を休めたり、学童の通学路で元気を与えたり、お墓に植えられて鎮魂の役目をしたり…。みんなの想像を超えてスイセンは立派に活躍しています。あの日から3年たった今、スイセンに気がつかされ、教えられることが何と多いことでしょう。スイセンの物語はこれからも進行し終わりがありません。ますます立派になっていく姿を今後も見届け紹介していきたいと思えます。みなさん本当にありがとうございました。

やぎゅうしんご

スイセンプロジェクトホームページ <http://suisen-project.com>



福島県南相馬市 上野さん 51or5球根を植え込み。(協力/日比谷花壇)



岩手県陸前高田市 森の前「陸前高田ちっちゃな花畑II」2,000個植え込み。

写真提供/スイセンプロジェクト事務局写真部



園芸家 柳生 真吾 やぎゅうしんご  
NHKTV「趣味の園芸」キャスターで8年間活躍し人気を博す。1968年生まれ。小学生時代からハケ岳に通い、父親の俳優・柳生博氏とともに雑木林をつくり、89年に林を開放してレストランやギャラリーを併設した「ハケ岳倶楽部」をスタート。園芸著書も多数。

写真提供/柳生真吾

うつつむく姿に、母の強さを感じます  
そもそも植物の存在の目的は、タネを作ること、子孫を残すことで、そのため手段が「花」です。僕は植物がタネを付けるためにとる様々な戦略や工夫、しかけを知るのが大好きなんです。ヒマワリで感じるのは花が終わった後の、下を向いてうなだれている姿。太陽に向かって元気

「ハケ岳倶楽部」公式ホームページ [www.yatsugatake-club.com](http://www.yatsugatake-club.com)  
柳生真吾のハケ岳より  
いつぱいに咲くヒマワリのイメージに対して、この花後の姿を時に人は「寂しそう」と言います。が、僕はむしろそのうつむいた姿の方に子孫にかける強い思いを感じるのです。寂しいのではなく、大切な大切な何百、何千というタネをカビないように雨から守りタネを抱きとめていられるように見えます。子孫繁栄の知恵と戦略として、何があっても生き残るぞ、という親の強い意志に感動します。それを知ると自然とこちらも頭が下がる思いがするのです。

## 花後の姿に頭が下がります!?

みんなが好きなのは元気なヒマワリ?  
僕が好きなのは花が枯れたヒマワリ!

花が終わった後の写真ばかり撮る

漢字では「向日葵」と書き、「日輪草」とも呼ばれるヒマワリは、夏の季節でもあり太陽のイメージで元氣いっぱい咲く姿が夏の花の代表として人気ものです。ちなみにハケ岳倶楽部のある山梨県北杜市(ほくとし)の「市の花」もヒマワリです。うちのすぐそばの清里という町にとっても立派なヒマワリ畑があつて、花が咲いている時期は全国から写真を撮りに来るほどの名所です。このヒマワリ畑は、タネを取るためか(?)花が終わっても抜かないでしばらくそのままにしてあり、その風景が僕にはとても印象的です。ヒマ



下を向くヒマワリの姿に毎年心を打たれます。大切なタネたちが成熟するのを日差しや雨から守っているのです。

ワリは花が枯れてしまうと、いつせいに下を向いてうなだれているように見えます。なぜか僕は花が終わった後のこの姿ばかり写真に撮っています。



夏のヒマワリには誰もが元気をもらえるよね!



ヒマワリたちは決して去りゆく夏にうなだれているわけではありません。この姿こそが生き抜こうという姿勢なのです。